

# 関係機関との連携・労働関係制度の活用に関する目標について

## ○障害者に対する職業訓練の受講者数

### 【調査対象】

- ・ 一般就労へ移行する者（5,453人（R1年度実績））
- ・ 職業能力開発促進法に基づく職業訓練

### 【第5期北海道障がい福祉計画】

#### 《目標》

- ・ 年間17人（H28年度実績の1.5倍）

#### 《実績》

- ・ H29：71人、H30：90人、R1：134人

#### 《評価》

- ・ 目標値を達成する見込み。

#### 《評価の理由》

- ・ R1年度実績ですでに目標値を達成しており、R2年度も十分に達成を見込めるため。

### 【第6期北海道障がい福祉計画】

#### 《目標（案）》

- ・ 年間171人（R1年度実績の1.27倍）

#### 《目標設定の考え方》

- ・ 国の基本指針の一般就労への移行者数の目標設定に基づき設定。

## ※ 目標値と実績値の乖離について。

第5期北海道障がい福祉計画策定時に就労移行支援事業所・就労継続支援AB型事業所を対象として実施した調査（H28年度実績）では、「一般就労へ移行“した”者」のうち、職業訓練を受講した人数を調査し、目標値の設定基準としていたが、H30年度実施の調査（H29年度実績）から国の基本指針に合わせ、「一般就労へ移行“する”者」のうち、職業訓練を受講した人数を調査するよう訂正した結果、実績値と乖離してしまったもの。

なお、H28年度の「一般就労へ移行“する”者」の実績は71人であり、1.5倍では106.5人となり、R1年度実績で目標値を達成している。

## ○福祉施設から公共職業安定所への誘導

### 【調査対象】

- ・ 就労系障害福祉サービス事業利用者（移行、A、B）
- ・ 就職したかどうかに関わらず利用登録をした人数

### 【第5期北海道障がい福祉計画】

#### 《目標》

- ・ 年間4,135人（H28年度実績3,325人から年間5.6%増でのR2年度数値）

#### 《実績》

- ・ H29：3,269人、H30：3,420人、R1：3,099人

#### 《評価》

- ・ 目標値を未達成の見込み。

#### 《評価の理由》

- ・ H29年度以降の実績調査で利用者数が横ばいで推移しているため。

### 【第6期北海道障がい福祉計画】

#### 《目標（案）》

- ・ 年間4,135人（第5期計画の目標値を継続）

#### 《目標設定の考え方》

- ・ 一般就労における公共職業安定所の重要性、現状における達成の可能性を鑑み設定。

### ※ 現状における目標達成の可能性について

H29～R1年度実績について、一般就労希望者数と事業種別ごとの実績は以下のとおり。

#### <H29実績>

3,269人（一般就労希望者5,460人）

内訳：A型事業所1,581人、B型事業所860人、移行事業所828人

#### <H30実績>

3,420人（一般就労希望者5,653人）

内訳：A型事業所1,542人、B型事業所973人、移行事業所905人

#### <R1実績>

3,099人（一般就労希望者5,453人）

内訳：A型事業所1,249人、B型事業所925人、移行事業所925人

就労継続支援A型事業所利用者の実績の減少が顕著であるが、これはH29.4に指定要件の改正があり事業所数が減少したことが影響していると考えられる。

就労移行支援事業所において実績は増加傾向にあり、一般就労希望者の総数からみても、目標である4,135人は十分に達成しうる目標だと考えられる。

#### <参考>

道内の就労継続支援A型事業所数

H28：247事業所、H29：250事業所、H30：246事業所、R1：235事業所

## ○福祉施設から障害者就業・生活支援センターへの誘導（就職者数）

### 【調査対象】

- ・ 就労系障害福祉サービス事業利用者（移行、A、B）
- ・ 障害者就業・生活支援センターの支援を受け就職した人数

### 【第5期北海道障がい福祉計画】

#### 《目標》

- ・ 年間264人（H28年度実績202人から年間6.9%増でのR2年度数値）

#### 《実績》

- ・ H29：222人、H30：189人、R1：179人

#### 《評価》

- ・ 目標値を未達成の見込み。

#### 《評価の理由》

- ・ H29年度以降の実績調査で就職者数が減少傾向にあるため。

### 【第6期北海道障がい福祉計画】

#### 《目標（案）》

- ・ 264人（第5期計画の目標値を継続）

#### 《目標設定の考え方》

- ・ 広域で就労移行・定着を担う障害者就業・生活支援センターの重要性を鑑み設定。

### ※ 質問方法の変更について

R1年度実施のH30年度実績調査より、調査項目の質問方法を変更した。

- ・ ～H29年度実績調査

以下のうちからナカポツセンターとの連携支援の内容を選択

支援の助言・情報提供、職場実習先の紹介、ケース会議等への参加、就職支援、生活支援、 定着支援、その他
-------------------------------------------------------

- ・ H30年度実績調査～

ナカポツセンターとの連携支援の有無を○×で選択

この質問方法の変更により、ナカポツセンターへの利用登録の有無を記載する事業所が増えたのではないかと考えられる。国の基本指針により定められた支援には利用登録の有無は示されておらず、H29年度実績調査でも支援の助言・情報提供などは利用登録の有無を問うていない。

そのため、次回調査以降は～H29年度実績調査までの質問方法へ戻して調査を行う。

こうきょうしよくぎょうあんていじよ ふくししせつりようしゃ しえんしゃすう しゅうしよくしゃすう  
○公共職業安定所における福祉施設利用者の支援者数（就職者数）

ちようさたいしやう  
【調査対象】

- ・ しゅうらうばいしよくがいふくし じぎょうりようしゃ いこう  
就労系障害福祉サービス事業利用者（移行、A、B）
- ・ こうきょうしよくぎょうあんていじよ しえん う しゅうしよく にんすう  
公共職業安定所の支援を受け就職した人数

だい きほつかいどうしやう ふくしけいかく  
【第5期北海道障がい福祉計画】

ちくひやう  
《目標》

- ・ 811人（H28年度実績715人から年間3.2%増でのR2年度数値）

じっせき  
《実績》

- ・ H29：788人、H30：848人、R1：835人

ひやうか  
《評価》

- ・ 目標値を達成する見込み。

ひやうか りゆう  
《評価の理由》

- ・ R1年度実績ですでに目標値を達成しており、R2年度も十分に達成を見込めるため。
- ・ R1年度実績が下がった理由は3月の就職件数が例年と比較して減少しているため。

だい きほつかいどうしやう ふくしけいかく  
【第6期北海道障がい福祉計画】

ちくひやう あん  
《目標（案）》

- ・ 936人（R1年度実績835人から年間2.9%増でのR5年度数値）

ちくひやうせってい かんが かに  
《目標設定の考え方》

- ・ H29～R1年度のハローワークを通じた障がいのある方の就職件数の伸び率（年2.9%）をR5年度まで維持した場合の人数を設定。

※ H30～R1年度の2年分を比較した場合には実績値は減少傾向にあるものの、H29年度からの3年分を比較した場合には実績値は増加しており、今後も就職者数の増加が期待できる。